

特 集

JSES技術認定取得をめざせ！

近年、消化器外科領域では胸・腹腔鏡下手術の普及がめざましく、市中病院においても胆嚢摘出術にとどまらず、各臓器領域の内視鏡外科手術を安全に行うことが求められている。日本内視鏡外科学会ではこれらの手技の安全な普及をめざし、各臓器領域の技術認定制度を運用している。手術ビデオを中心とした評価は厳しく、手技が極めてスムーズに行われることが求められ、本特集論文内に各臓器別の合格率を示したが、認定取得のハードルは高い。

手術を正確に行うためには、解剖や手順を覚えるばかりでなく、トロッカーポジションや患者の体位、デバイスの使用方法、術野展開、スコピストや助手との連携を深く理解して身につける必要がある。本特集では各臓器領域の班長と合格者に執筆いただき、洗練された内視鏡外科手術手技の習得方法を、図や写真、ビデオ（動画）もまじえてご披露いただいた。研修医から一般・消化器外科医、さらにはこれから JSES 技術認定取得をめざす若手外科医にとって本特集が座右の書となれば幸いである。